発行日：2017/11/27
改定日：2025/06/18

安全データシート

1．製品名及び会社情報

製　　品　　名：パーフィクスレジンプレミックス用硬化剤
住　　所：大阪府大阪市港区海岸通４－４－１０
担　当　部　門：樹脂アンカー営業部
緊　急　連　絡　先：本社樹脂アンカー営業部
TEL/FAX：06-6576-5101/06-6576-5103
作　　成：　2004/05/14 改訂：2017/11/27

2．危険物有害性の要約

GHS分類（ベンゾイルパーオキサイドとして）
物理化学的危険性
有機過酸化物含有：非危険物（消防法）
健康に対する有害性
急性毒性（経口）：区分外
急性毒性（経皮）：分類できない
急性毒性（吸入）：区分外
皮膚腐食性/刺激性：区分３
目に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分２Ａ
呼吸器感作性：分類できない。
皮膚感作性：区分１
標的臓器/全身毒性（単回ばく露）：区分１
標的臓器/全身毒性（反復ばく露）：区分１
環境に対する有害性
水生環境有害：区分１

ＧＨＳ表示：

注　意　喚　起　語：危険

危 険 有 害 性 情 報：熱すると火災の恐れ。
軽度の皮膚刺激。
強い眼刺激。
アレルギー性皮膚反応を引き起こす恐れ。
長期又は反復ばく露による中枢神経系、呼吸器、心臓の障害
水生生物に非常に強い毒性。

注　　意　　書　　き

（予防策）：熱、火花、裸火、高温の物のような着火源から遠ざけること
促進剤、重金属、還移金属化合物、酸、アルカリ、アミン、
酸化還元物質の混入及び接触を避けること。
他の容器に移し替えないこと。
保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
汚染された作業着は、作業場から出さないこと。
屋外または換気の良い場所で使用すること。
粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと
環境への放出を避けること。

（対　応）：漏洩物を回収すること。
汚染された衣類を再使用する場合には、洗濯をすること。
気分が悪いときは、医師に連絡すること。
取扱い後は手を洗うこと。
吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい
姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、
手当をうけること。

（保　管）：他の物質から離して保管すること。
３０℃以下の冷暗所に保管すること。
施錠して保管すること。
乾燥させないこと。

（破　棄）：内容物及び容器は都道府県又は市町村の規則に従って破棄すること
詳細な破棄等は、「１３．破棄上の注意」を参照すること。

想定される非常事態の概要：高温又は異物混入により急速に分解及び爆発する恐れがある

３．組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

化　　学　　品：略称　ＢＰＯ（ジベンゾイルパーオキサイド）

化学名又は一般名	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号		ＣＡＳ番号
			化審法	安衛法	
過酸化ﾍﾞﾝｿﾞｲﾙ	25.5	$C_{14}H_{10}O_4$	(3)-1349	既存	94-36-0
ﾌﾀﾙ酸ｼﾞｼｸﾛﾍｷｼﾙ	24.5	$C_{20}H_{26}O_4$	(3)-1311	既存	84-61-7
流動ﾊﾟﾗﾌｨﾝ	40.5				8042-47-5
ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙｽﾙﾎｺﾊｸ酸ﾅﾄﾘｳﾑ	3	$C_{20}H37O_7NaS$	(2)-3051		577-11-7
含水珪酸ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ	4	$3MgO\cdot4SiO\cdot H_2O$		既存	14807-96-6
四三酸化鉄	1	Fe_3O_4	(1)-357	既存	1309-38-2
二酸化珪素	1.5	SiO_2	(1)-548	既存	112945-62-5

４．応急処置

吸 入 し た 場 合：直ちに新鮮な空気の場所へ移動させる。
咳や呼吸困難等の症状がある場合は、保温して早急に医者の治療を受ける。

皮膚に付着した場合：直ちに水、石鹸等で洗い落した後、異常があれば医師の診療を受ける。

眼 に 入 っ た 場 合：直ちに多量の流水で15分間以上洗眼した後、医師の治療を受ける。また、コンタクトレンズを着用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗眼する。

飲 み 込 ん だ 場 合：直ちに口をすすいだ後、コップ1~2杯の水もしくは牛乳を飲ませ、早急に医師の治療を受ける。また、この時は無理に吐き出させないこと。
万が一、意識のない場合、まず呼吸しているかどうかを調べ、頭を後ろに反らして気道を確保し、体の左側が下になるように横向きに寝かせ、直ちに医師の治療を受ける。

応急処置をする者の保護：救助者が有害物資に触れないように手袋等の保護具を着用する。

５．火災時の措置

消　　火　　剤：棒状の水、水噴霧、粉末、二酸化炭素、泡消火器、強化

液、ハロゲン化物等。

火 災 時 の 特 定：燃焼ガスには一酸化炭素や分解生成物等を含む有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸引を避ける。

特 定 の 消 火 方 法：初期火災の場合は粉末、泡消火器を用い、消火後に放水して冷却する。また、大量の放水により延焼を防ぐ。

消火を行う者の保護：消火作業時は適切な保護具を着用する。
消火活動は風上から行い、有毒ガスの吸引を避ける。
本格火災の場合は、爆発の危険性があるので絶対に近寄らず、安全な距離を保つ。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業に必ず保護具（手袋、保護眼鏡、防毒マスク等）を着用し、関係者以外を安全な場所に待機させ、風上から作業する。

環境に対する注意事項：漏洩物を直接河川や下水に流してはいけない。

及 び 除 去 方 法　乾燥を防ぐために噴霧注水をする。
強い衝撃、摩擦を与えないように注意しながら回収する。

二次災害の防止策：付近の着火源となるものを速やかに除去すると共に消火剤を準備する。
火花を発生しないような安全な用具を使用する。
乾燥を防ぐために噴霧注水する。

7．取り扱い及び保管上の注意

注　　意　　事　　項：局所排気又は全体換気装置のある場所で取り扱う。
乾燥させると衝撃、摩擦に非常に敏感になるので、絶対に乾燥させない。
強烈な摩擦及び衝撃は避ける。
眼、皮膚に触れないように保護眼鏡、保護手袋、、防塵マスクを着用する。
火気及び高熱発生の恐れのある場所では取り扱わない。
アミン類。強酸、強アルカリ、還移金属化合物、その他還元性物質等異物との接触は避ける。
分解を避けるために、一度取り出した本品は元の容器に戻さない。

保　　管：室温冷暗所（品質上の観点から３０℃以下）で保管する。
保管場所では火気を使用しない。

「先入れ先出し」を厳守する。
他の薬品（特に本品を分解させる恐れのあるアミン類、酸、アルカリ、還移金属化合物、その他還元性物質等）と同じ場所に置かない。
転倒・転落防止措置をする。

８．暴露防止及び保護措置

設　備　対　策：蒸気又はヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置をする。
取り扱い場所付近に洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

許　容　濃　度：TWA　５ｍｇ/Ｍ３（ﾍﾞﾝｿﾞｲﾙﾊﾟｰｵｷｻｲﾄﾞとして）

保護具

吸器の保護具：必要により防塵マスク
手の保護具：不浸透性（耐薬品、耐油、耐溶剤）保護手袋
眼の保護具：側板付き普通眼鏡型保護眼鏡、ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護：長袖作業着、安全靴（どちらも帯電防止型）

９．物理的及び化学的性質（ﾍﾞﾝｿﾞｲﾙﾊﾟｰｵｷｻｲﾄﾞ純品として）

外　観：白色粉体
臭　い：特異臭
ＰＨ：測定不能
融点/凝固点：１０３～１０５℃（分解：ﾍﾞﾝｿﾞｲﾙﾊﾟｰｵｷｻｲﾄﾞ純品の数値）
沸点、初留点及び沸騰範囲：測定不能（分解するため）
引火点：不明
発火点：５８５℃（ＡＳＴＭ　Ｅ６５９）
爆発特性：データなし
嵩比重：０．７８
溶解性：水　不要
溶剤　易溶（ｱｾﾄﾝ、ＭＥＫ、ジオキサン、ベンゼン、トルエン）
可溶（メタノール、エタノール、プロピルアルコール）

１０．安定性及び反応性

安定性：熱に対して不安定
反応性：アミン類、酸、アルカリ、還移金属化合物、その他還元性

物質等との接触により爆発的に分解が促進される場合がある。

避 け る べ き 条 件：直射日光を避ける
火気及び高熱発生の恐れのある場所では取り扱わない。
強烈な摩擦、衝撃をさける。
製品は絶対に乾燥させない。

避 け る べ き 材 料：鉄、銅合金、鉛、ゴム等の使用はさける。

危険有害な分解生成物：データ無し

１１．有害性情報

急性毒性（ｼﾞﾍﾞﾝｿﾞｲﾙﾊﾟｰｵｷｻｲﾄﾞ純品として）

経　　口：ラット　LD_{50}　5000mg/kgのレベルで毒性認められず
ラット　LD_{50}　7710mg/kg [5]

吸　　入：ヒ　ト　TC_{10}　24mg/Lで毒性高くない。 [1]
ヒ　ト　TC_{10}　12mg/M3 [3] [4]

経　　皮：マウス　LD_{50}　24g/kg/30WI [6]
マウス　TC_{50}　700ppm [4]

腹　腔　内：マウス　LD_{50}　250mg/kg [7]
マウス　LD_{50}　180mg/kg [8]
マウス　LD_{100}　300mg/kg [8]

中　毒　量：ラット　TD_{50}　25g/kg/42WI [7]

局所効果

皮 膚 腐 食 性：ラビット　皮膚腐食性無し[1]

皮 膚 刺 激 性：ラビット　皮膚刺激性無し[1]

眼に対する重篤な損傷/刺激性：ラビット　5分間の接触では刺激性、腐食性共に無い。
24時間での接触では刺激性はあるが腐食性はない。[1]
ラビット　陽性（角膜損傷）[2]
ラビット　最小の刺激性 [9]

呼吸器感作性/皮膚感作性：強い感作性あり [10]

発 ガ ン 性：ＮＴＰ、ＯＳＡＨに記載無し。[11]
ＩＡＲＣでは「人への発ガン性があると分類されない」と判定している。

ＡＣＧＩＨでは「人間に対して発ガン性がある分類されない」と判定している。[11]

生殖細胞変異原生：Ｔｉｅｒ１試験　陰性 [3]
Ａｍｅｓ試験　陰性 [13] [14]

１２．環境影響情報

残 留 性 / 分 解 性：生分解性良好（ｼﾞﾍﾞﾝｿﾞｲﾙﾊﾟｰｵｷｻｲﾄﾞ）[15)]

１３．廃棄上の注意

残余破棄物

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に破棄物処理法（破棄物及び清掃に関する法律）及び関連法規、法令を厳守して適正に処理する。

汚染容器及び包装

空きの汚染容器及び包装を破棄する場合は、内容物を完全に除去した後に都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に破棄物処理法（破棄物及び清掃に関する法律）及び関連法規、法令を厳守して適正に処理する。

１４．輸送上の注意

国際規制

海　上　輸　送：IMDGに定められている運送方法に従う。
航　空　輸　送：IATAに定められている運送方法に従う。
国　連　分　類：5．2　有機過酸化物
国　連　番　号：3108　有機過酸化物

国内規制

陸　上　輸　送：労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従う。
海　上　輸　送：船舶安全法に定められている輸送方法に従う。
航　空　輸　送：航空法に定められている輸送方法に従う。

輸送の特定安全対策及び条件

転倒、転落その他の衝撃を与えない。
積み下ろしの際は、火気厳禁とする。
直射日光を受けないようにする。
高温にならないようにする。

１５．適用法令

国内適用法

消　　防　　法：非危険物
働 安 全 衛 生 法：危険物(通知対象物質 政令番号 第282号 ｼﾞﾍﾞﾝｿﾞｲﾙﾊﾟｰｵｷｻｲﾄﾞ)
化　　審　　法：該当しない
船 舶 安 全 法：酸化性物質類　有機過酸化物
航　　空　　法：有機過酸化物

Ｐ　Ｒ　Ｔ　Ｒ　法：非該当

物質登録情報

Ｔ　　Ｓ　　Ｃ　　Ａ：登録あり

EINECS（ELINCS）：202-327-6

１６．その他の情報

1）Report of International Research and Development Corporation, Mattawan, Michigan IRDC 328-005

2）MUDr. josef V.Marhold CSc., “Sbornik Vysledku Toxikolgckho Vysetreni Latek A Pripravku” 52(1972)

3）Report of Litton Bionetics Inc.,LBI-PB(PB-245-494 June 15,1975)

4）A.C.G.I.H. “Documentation of Thrchold Limit Valuse for Substances in Workroom Air” 1971

5）Science 213,1023,81

6）U.S. Department of Health,Education and Welfare. National Institute for Occupational Safety and Health “Registry of Toxic Effects of Chemical Substances 1975 Edition”

7）Hygiene and Sanitation 29,103(January 1964)

8）Report of International Research and Development Corporation, Mattawan, Michigan. IRDC 328-005

9）H.J.Kuchle-Zbl. Arbeits Med. 8,25(1958)

10）Klimian,A.M.,j.j.Leyden, and R. Stewart. Int. J. Dermatol. 16(5) :413-417, 1977.

11）日本化学物質安全情報センター編集（平成7年2月発行）
「米国OSHA　危険有害性の周知事実－規則と危険有害性化学物質リスト－（第5版）」

12）ACGIH 2002 TLVs and BEIs.

13）Y&Y

14）Report of Central Institute voor Voedigsondezoek TNO(CIVO), Zeist, Holland, R-5974

15）経済産業省 既存化学物質点検結果

１７．記載内容の問い合せ先

エヌパット株式会社 樹脂アンカー営業部
TEL/FAX：06-6576-5101/06-6576-5103

＊ 記載内容は、現時点で入手できる情報等に基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。含有量、物理化学的性質は保証値ではありまん。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施してください。